

湧水

保全フォーラム

全国大会 in みさと



7 月1日、「湧水保全フォーラム全国大会inみさと」が美郷町公民館を会場に開催されました。このフォーラムは町の水環境保全活動を全国に向けて発信するとともに、全国各地のさまざまな保全活動を知ることにより、町民一人ひとりが水環境保全について学び次代に引き継いでいくことを目的に開催され、330人の参加者が集まりました。



基調講演や事例発表、パネルディスカッションなどを通して、水環境への理解を深めた同フォーラムには秋篠宮殿下もご臨席され、お言葉を述べられました。



基調講演「湧水と風土」 谷口 真人氏

「湧水と風土」をテーマに、総合地球環境学研究所副所長である谷口真人氏による基調講演が行われました。

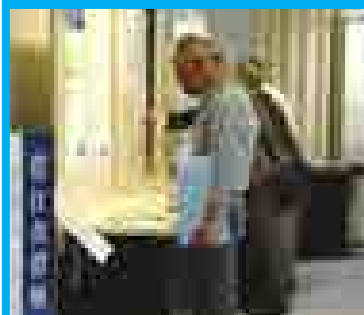
講演では、京都や六郷の事例を交えながら、食文化、歴史文化と水資源の関係について学びました。また、最後には「湧水は地下からの絵巻物だと思っています。こうして湧いてきている水は、今降った雨が湧いているのではなくて、数年前、数十年前、京都では250年前のものです。それは、過去に遡った歴史を湧水が表しているということです。つまり、湧水には過去の履歴、エネルギーや食糧などの地球上のさまざまなこととつながる情報が含まれています。」と語られました。

パネル 展示・発表



町内小中学校をはじめ、県内外の団体による水環境についての活動がパネルにまとめられ、展示や発表が行われました。

菅江真澄展



秋田県立博物館協力のもと、菅江真澄が約200年前に描いた清水の作品などが展示されました。

事例発表 県内外から集まった有識者の皆さんが、それぞれの活動や調査について発表しました。



秋田大学大学院理工学研究科附属理工学研究センター 助教 **網田 和宏 氏**

発表題目

湧水の声を聞くために
～六郷湧水群の
継続調査を例に～



鳥海山“おもしろ自然塾” 推進協議会 会長 **鈴木 康之 氏**

発表題目

イバラトミヨは子供たちの心の内に“愛”を育む!! ～遊佐町立遊佐小学校の総合学習の取り組みの現場報告～



福井県大野市 湧水再生対策室 室長 **埴山 寿章 氏**

発表題目

福井県大野市の取組み 「水への恩返し Carrying Water Project」



北九州市立大学 国際環境工学部 准教授 **加藤 尊秋 氏**

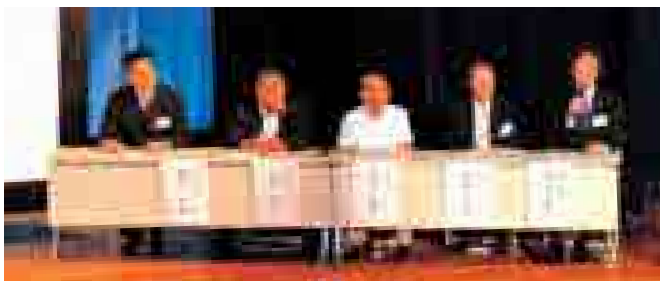
発表題目

震災を越えて
～岩手県大槌町の
人々と湧水～

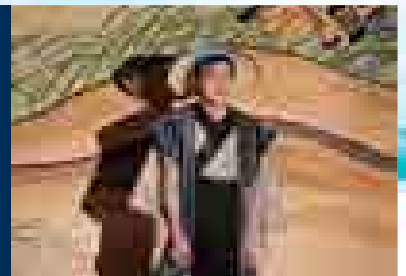
パネルディスカッション

「美^み湧^わくの郷^{さと}からつなげよう未来へ～伝承の仕組みづくり～」をテーマとして、岐阜経済大学教授である森誠一氏をコーディネーターに、パネルディスカッションが行われました。

パネリストとして、事例発表を行った4名と美郷町長が参加し、町内の水環境をどのように次代へ引き継いでいくかを語り合いました。



六郷小学校 6年生による 発表



六郷小学校6年生の皆さんが描いた現在の清水の姿と、菅江真澄が約200年前に描いた当時の清水の姿を見比べ、どのように変化しているかを菅江真澄に扮するなど演劇仕立てで発表しました。

秋篠宮殿下が町内の清水をご視察されました

7月2日、仙南地区の清水川、千畑地区の大清水、六郷地区のニテコ清水を秋篠宮殿下がご視察されました。

ニテコ清水では、普段あまり姿を見せないハリザッコ(イバラトミヨ)を殿下が見つけれ、清水を泳ぐハリザッコを身を乗り出してご覧になられていました。

